

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : neodisher MediClean
供給者の会社名称 : ミーレ・ジャパン株式会社
住所 : 〒153-0063 東京都目黒区目黒 1-24-12 オリックス目黒ビル
担当部門 : プロフェッショナルビジネスユニット
電話番号 : 03-5740-0030
FAX 番号 : 03-5740-0035
緊急連絡電話番号 : 03-5740-0030
推奨用途 : 業務用洗浄消毒機用洗剤
使用上の制限 : 推奨用途以外使用不可

2. 危険有害性の要約

【化学品のGHS分類】

健康有害性 皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2A
皮膚感作性 : 区分 1
環境有害性 水生環境有害性 短期(急性) : 区分 3(毒性未知成分 約 7%)
上記に記載がない項目は、GHS 分類基準に「分類できない」又は「区分に該当しない」。

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 警告
危険有害性情報
・ H315: 皮膚刺激
・ H319: 強い眼刺激
・ H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
・ H402: 水生生物に有害

注意書き
[安全対策]
・ P264: 取扱い後は手及び眼をよく洗うこと。
・ P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
・ P261: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
・ P272: 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
・ P273: 環境への放出を避けること。

[応急措置]
・ P302+P352: 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
・ P332+P313: 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
・ P362+P364: 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
・ P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
・ P337+P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
・ P333+P313: 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

[保管]
・ なし
[廃棄]
・ P501: 内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
※なし: GHS 上の要素はないが、その他の注意事項は 4 項~13 項等を参照のこと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	：混合物		
化学名又は一般名	：neodisher MediClean		
慣用名又は成分	濃度範囲(%)	官報公示整理番号	CAS No.
トリエタノールアミン	10～15	非公開	非公開
アルコキシル化脂肪族アルコール	<1.0	—	120313-48-6
オクチル硫酸ナトリウム	<1.0	非公開	非公開

4. 応急措置

吸入した場合	<ul style="list-style-type: none">・ 空気の新鮮な場所に移動させ、体を毛布等で覆い保温し安静に保つ。・ 呼吸困難に陥った場合は、衣類を緩め気道を確保した上で酸素吸入あるいは人工呼吸を行う。・ 必要に応じて医療措置を受ける。
皮膚に付着した場合	<ul style="list-style-type: none">・ 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。・ 付着した部分は流水で流した後、石けんを用いてよく洗い落とす。・ 痒み、痛み等、皮膚に異常が生じた場合は医師の診察を受ける。
眼に入った場合	<ul style="list-style-type: none">・ 清浄な多量の水で最低 15 分間眼を洗浄した後、眼科医の手当てを受ける。・ 洗眼の際、まぶたを指でよく開き、眼球のすみずみまでよく水が行きわたるように眼を上下左右に動かす。
飲み込んだ場合	<ul style="list-style-type: none">・ 水で口の中をすすぎ、医師の診察を受ける。・ 無理に吐かせてはならない。・ 嘔吐が自然に起こった場合は、気管に入らないように身体を傾ける。

5. 火災時の措置

この製品自体は不燃性であるが、容器/包装等が燃えた場合は、通常の方法で消火する。	
適切な消火剤	・ 粉末、二酸化炭素、乾燥砂、耐アルコール性泡、水噴霧
使ってはならない消火剤	・ 情報なし
火災時の特有の危険有害性	・ 有毒なガス(一酸化炭素、窒素酸化物等)が発生するおそれがある。
特有の消火方法	<ul style="list-style-type: none">・ 周辺火災の場合は、周辺の設備などに散水して冷却する。・ 移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。・ 消火水や希釈水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	<ul style="list-style-type: none">・ 消火作業は必ず自給式呼吸器等の保護具を着用し、風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	<ul style="list-style-type: none">・ 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。・ 回収作業の際には保護具を着用すること。・ 風下で回収作業をしてはならない。
環境に対する注意事項	<ul style="list-style-type: none">・ 土壌に浸透させてはならない。・ 下水、河川、排水溝等に流してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	<ul style="list-style-type: none">・ 少量の場合はペーパータオル、ウエス等に吸収させ、密閉式の容器に回収する。・ 多量の場合は土砂等で流れを止め、液の表面を泡で覆い、乾燥砂又は不燃性吸着剤に吸収させ、密閉式の容器に回収する。・ 回収物は「13. 廃棄上の注意」の項の記載に準じて処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<ul style="list-style-type: none">・ 必要に応じて排気装置を用いる等、換気の良い場所で取扱うことが望ましい。
-----	---

- ・本製品のばく露は極力避けること。
- ・ばく露のおそれがある場合は、適切な保護具を着用すること。
- ・取扱い後はうがい、手洗い、洗顔を励行する。

保管

安全な保管条件

- ・直射日光及び高温を避け(推奨条件：0～25℃)、乾燥した換気の良い場所に保存する。
- ・元の容器を使用し、容器は確実に密閉する。
- ・食料と一緒に保管しない。

安全な容器包装材料

- ・データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度¹⁾

- ・設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会²⁾

- ・設定されていない

ACGIH-TLV³⁾

- ・(TWA) 5mg/m³(トリエタノールアミン)

注) (TWA)：時間加重平均値(8時間)

設備対策

- ・設備/装置全体を密閉化するか、局所排気装置を設置するのが望ましい。
- ・取扱い場所近くに、洗眼器および身体洗浄シャワーを設置するのが望ましい。

保護具

呼吸用保護具

：通常は必要ないが、必要に応じて呼吸器保護具を使用する。(送気マスク、空気呼吸器等)

手の保護具

：不浸透性の保護手袋(ネオプレン製、ニトリルゴム製、ブチルゴム製)

眼、顔面の保護具

：サイドシールド付き保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

：不浸透性の保護衣、保護長靴、前掛け

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

：液体

色

：ライトブラウン

臭い

：特徴的なにおい

融点/凝固点

：データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲

：データなし

可燃性

：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

：データなし

引火点

：非該当

自然発火点

：データなし

分解温度

：データなし

pH

：約9.8(20℃)

動粘性率

：データなし

溶解度

：水と混和する

n-オクタノール/水分配係数(log 値)

：データなし

蒸気圧

：データなし

密度及び/又は相対密度

：1.08g/cm³(20℃)

相対ガス密度

：データなし

粒子特性

：データなし

粘度

：<10mPa・s(20℃)

(参考データ)⁴⁾

融点/凝固点

：21.6℃(トリエタノールアミン)

沸点又は初留点及び沸騰範囲

: 335.4℃(トリエタノールアミン)

引火点

: 179℃(トリエタノールアミン)

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

: 3.6～7.2vol% (トリエタノールアミン)

蒸気圧

: <1Pa (25℃) (トリエタノールアミン)

相対ガス密度

: 5.1 (トリエタノールアミン)

密度及び/又は相対密度

: 1.1 (トリエタノールアミン)

溶解度

: 混和する (トリエタノールアミン)

n-オクタノール/水分分配係数(log 値)

: -2.3 (非爆発性) (トリエタノールアミン)

自然発火点

: 324℃(トリエタノールアミン)

10. 安定性及び反応性

反応性

・危険有害反応可能性の項参照。

化学的安定性

・通常取り扱い条件においては安定。

危険有害反応可能性

・データなし

避けるべき条件

・直射日光、多湿

混触危険物質

・データなし

危険有害な分解生成物

・高温に晒されると有毒なガス(一酸化炭素、窒素酸化物等)が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

製品としてのデータはないが、成分としてのデータを以下に記す。記載がない成分は、各種情報源及び自社保有データ等を検討した結果、十分な情報が得られず分類できなかったものである。

急性毒性

[経口毒性]

トリエタノールアミン 区分に該当しない: ラット LD₅₀ >4200 mg/kg ⁵⁾

オクチル硫酸ナトリウム 区分に該当しない: ラット LD₅₀ 3200 mg/kg ⁶⁾

[経皮毒性]

トリエタノールアミン 区分に該当しない: ウサギ LD₅₀ >2000 mg/kg ⁵⁾

[吸入毒性]

記載すべき成分データなし

注)LD₅₀:半数致死用量

皮膚腐食性/皮膚刺激性

トリエタノールアミン 区分 2:ヒトの皮膚に刺激性が認められた。 ⁵⁾

アルコキシル化脂肪族アルコール 区分 2:皮膚刺激を有する。 ⁷⁾

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

トリエタノールアミン 区分 2A:ウサギを用いた眼刺激性試験で刺激性が見られ、14 日後に完全に回復した。 ⁵⁾

呼吸器感受性

記載すべき成分データなし

皮膚感受性

トリエタノールアミン 区分 1:ヒトでアレルギー性接触皮膚炎の報告がある。 ⁵⁾

生殖細胞変異原性

トリエタノールアミン 分類できない:マウスを用いた in vivo 体細胞変異原性試験の結果、陰性だった。 ⁵⁾

発がん性

トリエタノールアミン 分類できない ⁵⁾

IARC : 3(ヒト発がん性について分類できない)³⁾

生殖毒性

記載すべき成分データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

トリエタノールアミン 区分3:呼吸器を刺激するおそれがある。⁵⁾

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

トリエタノールアミン 区分に該当しない⁵⁾

誤えん有害性

記載すべき成分データなし

12. 環境影響情報

製品としてのデータはないが、成分としてのデータを以下に記す。記載がない成分は、各種情報源及び自社保有データ等を検討した結果、十分な情報が得られず分類できなかったものである。

生態毒性

トリエタノールアミン	短期(急性):区分に該当しない ⁵⁾		
	長期(慢性):区分に該当しない ⁵⁾		
ファットヘッド [®] ミナー	LC ₅₀ (96h)	11800 mg/L	⁵⁾
オキシジノ	EC ₅₀ (24h)	1386 mg/L	⁵⁾
オキシジノ	NOEC(21d)	16 mg/L	⁵⁾
セテ [®] スミス	EC ₅₀ (96h)	169 mg/L	⁵⁾
アルコキシル化脂肪族アルコール	短期(急性):区分1 ⁷⁾		
	長期(慢性):区分3 ⁷⁾		
コイ科	LC ₅₀ (96h)	1~10 mg/L	⁷⁾
オキシジノ	EC ₅₀ (48h)	0.1~1 mg/L	⁷⁾
セテ [®] スミス	EC ₅₀ (72h)	0.1~1 mg/L	⁷⁾

注)LC₅₀:半数致死濃度 EC₅₀:半数遊泳阻害濃度 NOEC:無影響濃度

残留性・分解性

トリエタノールアミン 急速分解性がない。[分解度(BOD)] 0%⁵⁾
既存化学物質安全性点検において、難分解性と判定されている。⁸⁾

生体蓄積性

トリエタノールアミン 既存化学物質安全性点検において、低濃縮性と判定されている。⁸⁾

土壤中の移動性

記載すべき成分データなし

オゾン層への有害性

記載すべき成分データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・認可を受けた専門業者に委託する。
- ・関係法令を遵守し、自治体の指示に従うこと。

汚染容器及び包装

- ・容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。
- ・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 非該当

品名 : 非該当

国連分類 : 非該当

容器等級 : 非該当

海洋汚染物質 : 非該当

MARPOL 条約及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

: 非該当

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

- ・容器の破損、洩れ、栓の閉まり具合を確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

- ・車両等への積み下ろし作業の際は、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させ、車止めを施す。
- ・「7. 取扱い及び保管上の注意」の記載に準じて取扱う。
- ・輸送関係法規を厳守する。

国内規制がある場合の規制情報

陸上輸送	： 消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法、道路法等に従う
海上輸送	： 船舶安全法、港則法に従う
航空輸送	： 航空法に従う
応急措置指針番号	： 非該当

15. 適用法令

消防法	： 非該当
化審法	： 優先評価化学物質(トリエタノールアミン、オクチル硫酸ナトリウム(法文名：ナトリウム=アルキル(C=8～18)=スルファート))
労働安全衛生法	： 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物(リスクアセスメント対象)(トリエタノールアミン)
毒劇物取締法	： 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	： 非該当

16. その他の情報

引用文献	： 1) 作業環境評価基準(日本)(労働省告示第 79 号) 2) 「許容濃度等の勧告(2020 年度)」 産業衛生学雑誌 62 巻 3) 2021 Guide to Occupational Exposure Values (ACGIH) 4) 国際化学物質安全性カード(ICSC)(国際労働機関/ILO) 5) GHS 分類結果データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) 6) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (CCOHS) 7) 製造メーカーの「安全データシート」(2020 年) 8) 化審法データベース(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
------	---

記載内容の問合せ先	： ミーレ・ジャパン株式会社 電話番号；03-5740-0030
-----------	-------------------------------------

この SDS は JIS Z 7253(2019)、GHS 分類は Z 7252(2019)に準拠して作成しています。

ここに記載された情報は、弊社データを含め種々の技術出版物にあるデータに従ったものです。必要かつ安全な取扱いを決定する場合には、使用者がその責任においてこの情報の利用をお決め下さい。

なお、ここに記載された情報は、作成時点では弊社の調査による最新の情報に基づき作成されたものですが、法律、規制等の改正、新たな毒性試験結果の発表等により、改訂がありうることをご承知下さい。